



**Asset
Management**

netWIN ゴールドマン・サックス・ インターネット戦略ファンド

Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式

販売用資料 | 2017.8

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
「投資信託説明書(交付目論見書)」は販売会社までご請求ください。

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)が作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは



とうほう証券

商号等 とうほう証券株式会社
金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第36号
加入協会 日本証券業協会

Connect THE FUTURE

それは、ITが変える未来への投資。

(注)「netWIN」は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の登録商標です。
netWINゴールドマン・サックス・インターネット戦略ファンドAコース(為替ヘッジあり)およびBコース(為替ヘッジなし)と
netWINインターネット戦略マザーファンドを総称してnetWINといいます。

■ 設定・運用は

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

商号等 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会



Connect
THE FUTURE

時代、時代です。星のごとく現れては、
最先端のテクノロジーと先見性のあるアイデアで
世界中を魅了し、急成長を遂げるイノベティブ・カンパニー。

こうした企業に共通していることは、
進化するテクノロジーを革新的なビジネスに変えるアイデアを持っていること。
いまある常識を壊し、新しい常識を生み出せる力を備えていること。
そして、人々の暮らしにかつてない価値をもたらすこと。

IoT、クラウドコンピューティング、AI…
つぎはどんなテクノロジーが世界を驚かせるのか。
netWINは、長期的な成長を期待できる
イノベティブ・カンパニーを発掘し、あなたの投資の力になる。

それは、ITが変える未来への投資。

netWIN[®]

netWIN ゴールドマン・サックス・インターネット戦略ファンド

Connect
THE FUTURE

IT

×

ヘルスケア

身体の状態を常に把握して健康管理するために、腕時計型デバイスを身につける人が増えてきました。日々蓄積される生体ビッグデータは、個人の健康に役立つだけでなく、医療機関にて病気の解明や医薬品の開発に役立てるなど、未来の病気を救う力になります。



その生体データは、
日々の健康に役立ち、
未来の予防医学の力になる。

Connect
THE FUTURE

IT

×

エンターテインメント

ディスプレイの先に
エンターテインメントの
無限の可能性が見える。

大好きなアーティストを部屋に呼び、自分のためだけに歌ってもらう。空想上の生物をペットとして飼う。VR(仮想現実)やAR(拡張現実)などの革新的な技術では、それは不可能ではありません。現実の世界では体験できないエンターテインメントをITが可能にします。

インターネットの利用拡大で、

未来はもっと豊かになる。

Connect
THE FUTURE

IT × 消費

ネットで注文したら、あらゆる商品が30分以内で届く。小型無人飛行機（ドローン）を使用した配達サービスが、今実用化に向けて進んでいます。また、レジでの精算なしで買い物ができるサービスなど、ITの力でショッピングがさらに便利な世の中へと変わります。



ネット注文したら

空から荷物が届く。

そんな未来が進んでいる。



クルマから

「運転」という概念が、

近い将来なくなる。

Connect
THE FUTURE

IT × 自動車

行き先を告げるだけで、クルマが自動で目的地まで連れて行ってくれる。自動車メーカーやIT関連企業が独自に、または協業し、完全なる自動運転車の開発に邁進しています。ITは自動運転だけでなく、交通インフラにも革新をもたらし、その先には、事故や渋滞のない世界がきっと待っています。

Connect
THE FUTURE



未来に新しい価値を創造し、世界を変えるインターネットの力。

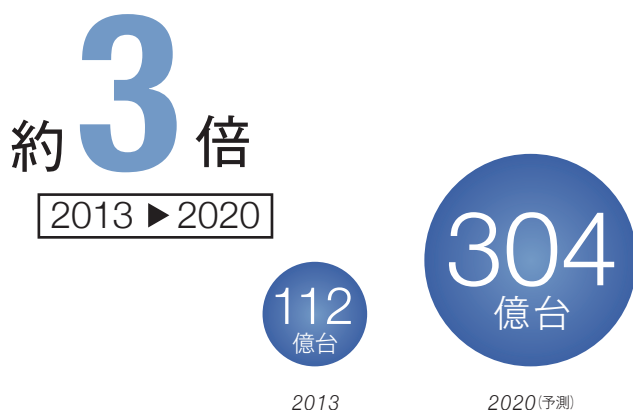
IoT × クラウドコンピューティング × AI

1 あらゆるモノがつながり、 世界を変える。

IoT (Internet of Things)

人、モノ、そのすべてが、インターネットでつながり合うIoTの世界。例えば、自動車と信号、道路がつながり合うことで、渋滞も信号待ちもなく最短距離、最短時間で目的地までたどり着けたり、ウェアラブル機器と病院がつながることで、医師が患者の健康状態を常に把握でき、安心して生活できるなど、その可能性は無限に広がっています。

インターネット接続デバイス数の増加予測



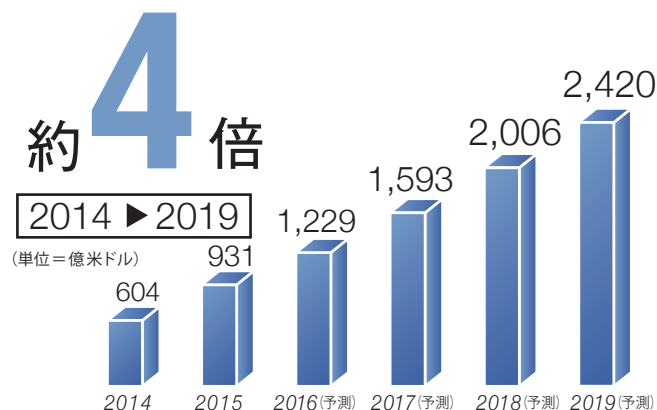
出所：総務省「平成28年版情報通信白書」、IHS Technology

2 IoT時代を支える ネットワークインフラ。

クラウドコンピューティング

2020年にはおよそ300億のモノがインターネット化 (IoT) されるといわれ、それに伴いデータ通信量は急増し、また通信速度は大幅にあがることが予想されます。膨大なデジタルデータをネットワーク上に蓄積・保管し、スピーディに処理できるクラウドコンピューティングが、IoT時代を加速させるインフラとして注目されています。

クラウドサービスの世界市場規模の推移および予測



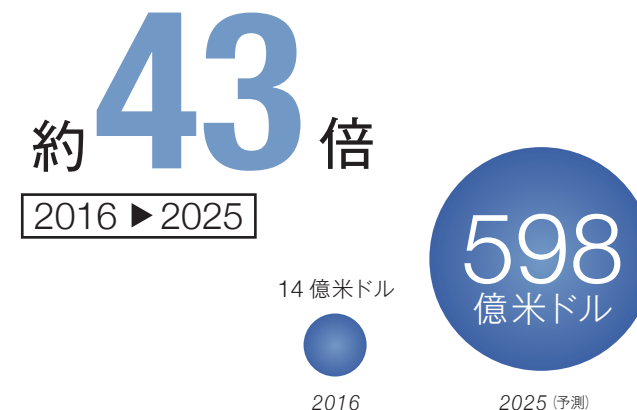
出所：総務省「平成28年版情報通信白書」、IHS Technology

3 ビッグデータ分析に 欠かせない人工知能。

AI

IoT時代の加速に欠かせないビッグデータの分析。機械はもはや処理を素早く正確に行うだけでなく、自らが処理方法を学習するまでに進化しています。AI (人工知能) による革新の場は、完全自動運転車や、ロボット、工場ラインの高度な自動化など、実に多彩で、世界の名だたる企業をはじめ、スタートアップ (起業間もない企業) などが競ってサービスや商品の開発に取り組んでいます。

世界のAI市場規模*予測



出所：Tractica 2017年5月2日プレスリリース

*AI 市場規模とは、機械学習やディープラーニングといった AI のソフトウェアから直接的あるいは間接的に生み出される売上を指します。

最先端のITが、いつの時代も netWINの力になる。

POINT

1

先見性 VISIONARY

常に時代の先を見据え、一步先の投資テーマ（革新的技術）を追求

インターネット普及期の2000年前後にはブロードバンドやケーブルTVといったインターネット・インフラ等に注目。アクセス端末がPCからスマートフォン等モバイル機器にシフトした2010年前後にはスマートデバイスやクラウドコンピューティング等に着目。現在は、IoT時代の拡大を見据え、IoT、クラウドコンピューティング、AIを主な投資テーマとしています。

POINT

2

長期の運用実績 LONG TRACK RECORD

17年を超える長期の運用実績を誇る業界有数のファンド

1999年11月設定。17年を超える運用実績を誇る、業界のITセクターファンドを代表する長寿ファンド。変化の速い米国ITセクターを主な投資対象とするなかで、常に一步先の革新的技術を捉える運用を17年超にわたり継続してきた強みがあります。

POINT

3

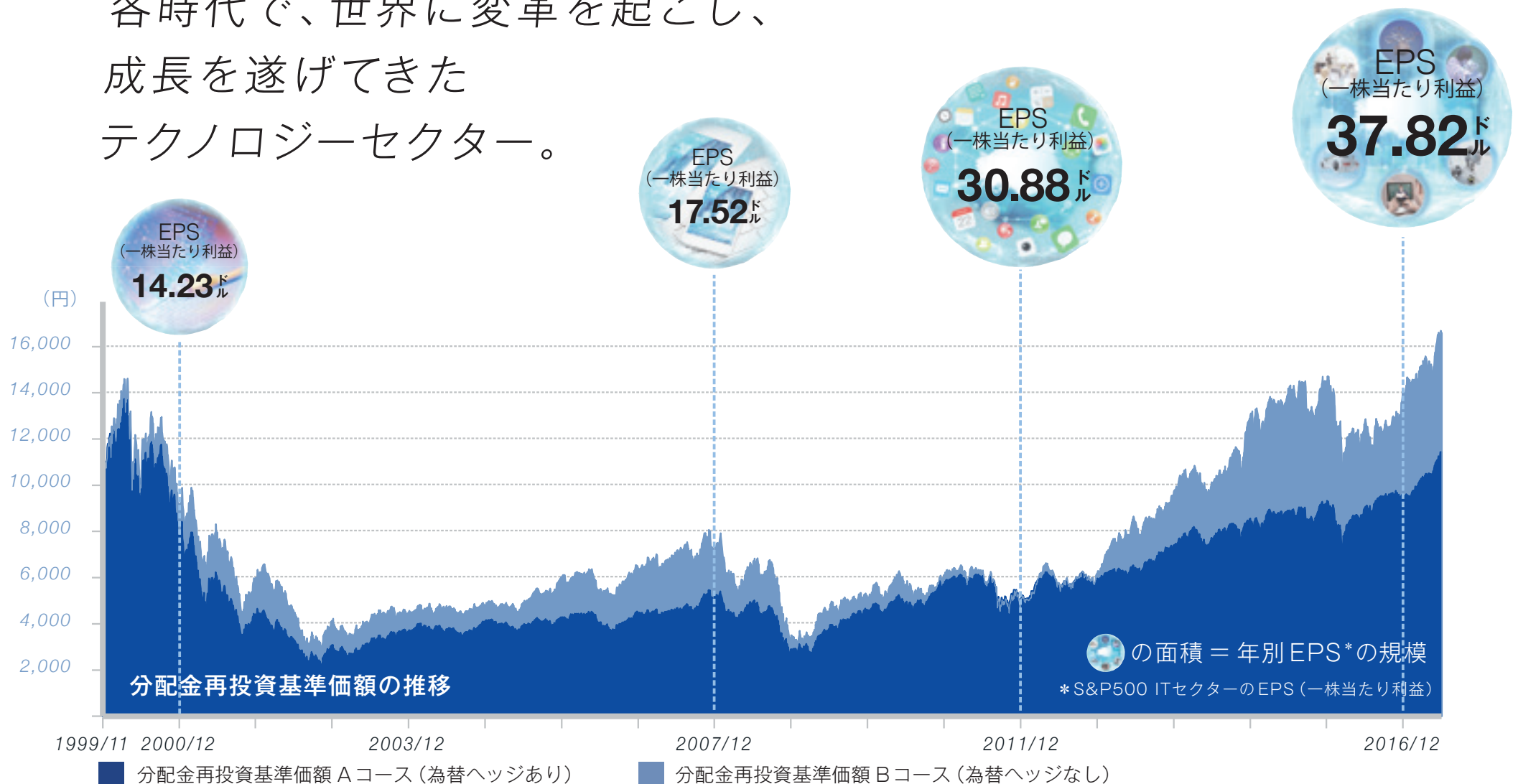
一貫性 CONSISTENCY

一貫した投資哲学に基づき運用

いつの時代も、持続可能かつ継続的な収益拡大を実現する企業には、共通の強みがあります。技術革新が速く企業の栄枯盛衰も早いIT業界だからこそ、一貫した投資哲学に基づき、長期的な視点で成長性の高いビジネスに投資します。

それは、ITが変える未来への投資。 **netWIN[®]**

各時代で、世界に変革を起こし、
成長を遂げてきた
テクノロジーセクター。



期間：1999年11月29日～2017年5月31日 出所：ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。

この結果、投資元本を割り込むことがあります。

上記の分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金再投資基準価額は、本ファンドの決算時に収益の分配があった場合に、その分配金(税引前)で本ファンドを購入(再投資)した場合の基準価額です。



TMT相場と ブロードバンド革命

1999年～2002年

インターネットの普及が本格化した時代。TMT(テレコム・メディア・テクノロジー)が脚光を浴びる。光ファイバーなどブロードバンドが高速化のきっかけに。

プレイヤー交代 ～新時代の序章

2003年～2008年

グーグルなどが新規上場するなど、プレイヤーが多様化。



PCからスマートデバイスへ ～急成長するクラウドビジネス

2009年～2013年

iPhone や Android 端末の普及により、スマートデバイスが急成長。また、新たに生まれたクラウドコンピューティングがスマートデバイスによるインターネットアクセスを支えた。

モノ同士がつながり、 世界を変革するIoT時代のはじまり

2014年以降

すべてのモノがネットワークにつながるIoT時代が到来。クラウドコンピューティング、AI など、未来を変える革新的ITが幅広いセクターに大きな付加価値をもたらしている。



組入上位銘柄 [事業内容]	
1	バイアコム [メディア]
2	マイクロソフト [ソフトウェア]
3	AOLタイム・ワーナー [メディア]
4	クラウン・キャッスル・インターナショナル [通信塔]
5	ファースト・データ [電子取引]

2001年12月末現在

組入上位銘柄 [事業内容]	
1	マイクロソフト [ソフトウェア]
2	アクティビジョン [ゲーム]
3	エレクトロニック・アーツ [ゲーム]
4	リサーチ・イン・モーション [携帯端末]
5	グーグル [インターネット関連全般]

2007年12月末現在

組入上位銘柄 [事業内容]	
1	アップル [モバイル端末]
2	グーグル [インターネット関連全般]
3	クアルコム [通信機器]
4	ネットアップ [データ・ストレージ]
5	ラックススペース・ホスティング [クラウドコンピューティング]

2011年12月末現在

組入上位銘柄 [事業内容]	
1	アルファベット(旧グーグル) [インターネット関連全般]
2	アップル [モバイル端末]
3	アマゾン・ドット・コム [eコマース]
4	フェイスブック [SNS]
5	マイクロソフト [ソフトウェア]

2017年5月末現在

1 アルファベット Alphabet

グーグルを傘下を持つ
ITセクターの巨大企業

- ▶ サーチエンジン最大手。オンライン広告の成長の恩恵を受ける企業。最近では、サーチエンジンやGmailなどに対するAI（人工知能）システム“Rank Brain”の活用や自動運転車の開発など、常に最先端をいく。



2 アップル Apple

スマート・モバイル市場で
誇る強力かつ広い顧客基盤

- ▶ 圧倒的なブランド力で、ポータブル・メディア端末市場（iPod、iPhone、iPad）における高い市場占有率を誇る。ウェアラブル端末等、IoT時代に欠かせないインターフェイス端末を創造するイノベティブ・カンパニー。

3 アマゾン・ドット・コム Amazon.com

インターネット小売の巨人の顔と
クラウド大手の顔

- ▶ 急成長を遂げるeコマース市場において独占的地位を確立するオンライン小売の全米最大手。高収益かつ高成長のクラウドコンピューティング事業の多大な成長余地を持つ。



4 フェイスブック Facebook

ソーシャル・ネットワーキング・
サービス市場で世界を席巻する

- ▶ 強力なプラットフォームと他を寄せ付けない顧客基盤を築き、SNS市場で支配的な市場シェアを構築。すべての地域で広告収入を増大できる強みを持つ。



5 マイクロソフト Microsoft

クラウドコンピューティングを第2の柱に
成長を続けるIT業界を代表する企業

- ▶ PC向けのWindows OSや業務用ソフトのOfficeで高い市場シェアを誇り不動の地位を築いている世界最大級のソフトウェア企業。近年、成熟化しつつあるソフトウェア事業に加え、成長性の高いクラウド事業の拡大により新たな成長期を迎えている。



組入銘柄 [事業内容]

6	オラクル [ソフトウェア]
7	アンフェノール [電子部品]
8	アメリカン・タワー [通信塔]
9	エヌエックスピー・セミコンダクターズ [半導体]
10	マスターカード [金融]

2017年5月末現在 出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

本資料に含まれている市場動向や個別銘柄等についてのコメントは、情報提供を目的として本資料作成時点でのゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの見解を示すものであり、それらの将来の動きを予測または保証するものではありません。今後予告なしに変更される可能性があります。上記はあくまでも過去の一時点における組入銘柄であり、将来にわたって引き続き当該銘柄を保有、または保有しないことを保証するものではありません。また、個別銘柄の売却、購入または継続保有等を推奨するものではありません。

▶ ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

ゴールドマン・サックスは、1869年（明治2年）創立の世界有数の金融グループのひとつであり、世界の主要都市に拠点を有し、世界中の政府機関・企業・金融機関等に対して、投資銀行業務・証券売買業務・為替商品取引・資産運用業務など、多岐にわたる金融サービスを提供しています。

ゴールドマン・サックスの資産運用グループであるゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントは1988年の設立以来、世界各国の投資家に資産運用サービスを提供しており、2017年3月末現在、グループ全体で約1兆1,703億米ドル（約131.3兆円*）の資産を助言・運用しています。

※米ドルの円貨換算は便宜上、2017年3月末現在の1米ドル＝112.19円により計算しております。

▶ 米国グロース株式運用チーム

30年を超える米国グロース株式の運用実績－17年を超える netWIN の運用実績
約1.5兆円の米国グロース株式を運用（2017年3月末現在 / 1米ドル＝112.19円換算）
17名のポートフォリオ・マネジャーとアナリスト（2017年3月末現在）

▶ 投資哲学：よりよい投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される

単なる株式売買ではなく、会社・事業を実際に買うかの如く投資します

「株式の売買」というよりも、「成長ポテンシャルを持つ事業への投資」に近い戦略です。

質の高い成長企業・事業に投資します

長期的かつ持続的な成長を実現できる体制を有する企業に投資します。

事業の本源的な価値が株価に織り込まれていない企業に投資します

成長が期待でき、本来の企業価値に対して現在の株価が割安であると判断した企業に投資します。

POINT 1

主に米国を中心とした「インターネット・トルキーパー」企業の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざします。

POINT 2

「インターネット・トルキーパー」企業とは、メディア、テレコミュニケーション、テクノロジー、インターネット関連セクターにおいて、インターネット企業やインターネット・ユーザーに対しアクセス、インフラ、コンテンツ、サービスを提供し、かつ、インターネット業界の成長により収益が上げられるとポートフォリオ・マネジャーが判断した企業とします。

POINT 3

「よりよい投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトム・アップ手法により銘柄選択を行います。

本ファンドでは、インターネットの世界において、高速道路の「料金所」のように「交通量」（＝売上げ数量）の増加や「通行料」（＝価格）の値上げによって収益をあげることできる企業を「インターネット・トルキーパー」企業と呼びます。

銘柄選択のポイント — 持続可能かつ継続的な収益拡大が見込める企業 —	
強固な事業基盤	▶ 価格競争力 ▶ 寡占的市場シェア、規模の優位性 ▶ 強力なブランド、特許の保有 ▶ 潤沢なフリー・キャッシュ・フローの創出 ▶ 望ましい水準の資本収益率
優れた長期的事業見通し	▶ 持続的な競争優位性 ▶ 持続可能な成長 ▶ 製品の長いライフサイクル ▶ 人口構成の変化に対応
優れた経営	▶ 合理的な資本配分 ▶ 従業員と株主の利害の一致 ▶ 安定的な業歴

上記は、持続可能かつ継続的な収益拡大が見込める企業についての一般的な特徴をまとめたものであり、必ずしも個別の企業にあてはまるものではありません。

※ 「インターネット・トルキーパー」は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の登録商標です。本ファンドでは、「インターネット・トルキーパー」企業のほか、コスト構造、収益性、競争優位性の改善が期待できるインターネットのビジネス戦略を迅速に実践している企業や、ポートフォリオ・マネジャーが「持続可能なビジネス・モデルを持っている」と判断したインターネット企業の株式にも投資します。

※ A コースは、対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。なお、為替ヘッジにはヘッジ・コストがかかります。ヘッジ・コストは、為替ヘッジを行う通貨の金利と円の金利の差が目安となり、円の金利のほうが低い場合この金利差分収益が低下します。B コースでは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

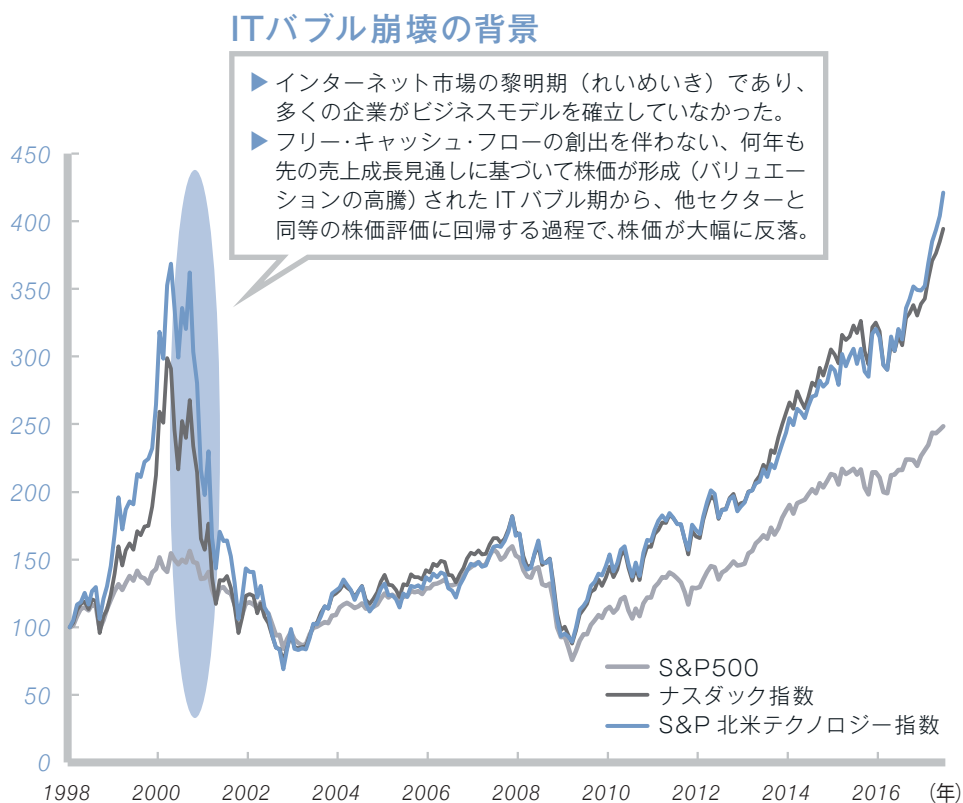
※ 販売会社によっては、A コースと B コースの間でスイッチング（無手数料での乗換え）が可能です。ただし、換金時と同様に信託財産留保額および税金をご負担いただきます。なお、販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。

※ 本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。

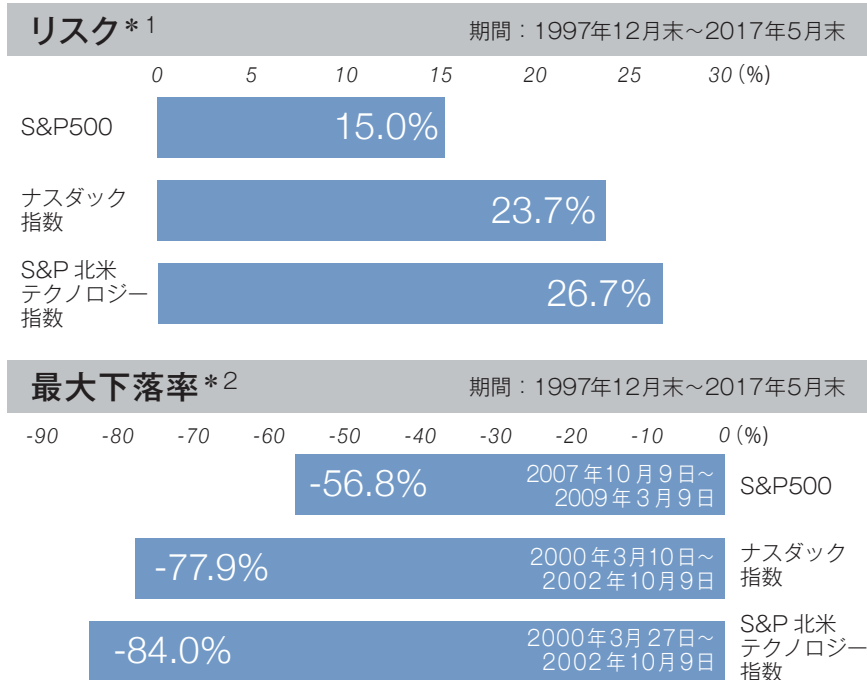
市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

- ▶ ITバブル崩壊の過程で、S&P 北米テクノロジー指数やナスダック指数は、最大でそれぞれ▲84.0% (2000年3月27日～2002年10月9日)、▲77.9% (2000年3月10日～2002年10月9日) の下落率を記録しました。
- ▶ IT 関連株式から構成される S&P 北米テクノロジー指数や IT 関連株式の構成割合が高いナスダック指数は、幅広い業種から構成される S&P500 と比較して、相対的にリスク(価格変動性)が高い傾向がありますのでご注意ください。

S&P500とIT関連株指数の推移



リスクと最大下落率



*1 リスクは月次リターンより算出した年率標準偏差です。リスク(標準偏差)とは、全体の結果が平均の近くにまとまっているか散らばっているかを表す指標です。例えば、ある市場のリターンのリスク(標準偏差)が小さければ小さいほど、日々リターンは平均リターンの近くにまとまり、それだけリスクの小さい市場であるということがいえます。また、ある市場のリターンのリスク(標準偏差)が大きければ大きいほど、日々リターンは平均から散らばったものとなり、それだけリスクの大きい市場ということになります。

*2 最大下落率は、計算期間における高値から、その後下落した際の下落率の最大値をいいます。

上記の指数は、本ファンドのベンチマークではありません。指数には直接投資することはできず、取引コストや流動性等の市場要因なども考慮されておられませんので、実際の取引結果とは異なります。上記はあくまでも指数の推移であり、本ファンドのデータではなく、また将来の結果を示唆または保証するものではありません。

▶ 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。

▶ 主な変動要因

株式投資リスク（価格変動リスク・信用リスク）・集中投資リスク

本ファンドは、「インターネット・トールキーパー」企業の株式を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動リスク等のさまざまなリスクが伴うことになります。本ファンドの基準価額は、株式等の組入有価証券の値動きにより大きく変動することがあり、元金が保証されているものではありません。特に「インターネット・トールキーパー」企業等の株式の下降局面では本ファンドの基準価額は大きく下落する可能性が大きいと考えられます。また、本ファンドは、一定の業種に対してより大きな比重をおいて投資を行いますので、業種をより分散した場合と比較して、ボラティリティが高くより大きなリスクがあると考えられます。

一般には株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況に応じて変動します。したがって、本ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があります。現時点において株価が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

為替変動リスク

本ファンドは、外貨建ての株式を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には為替変動リスクが伴います。とりわけ、対円で為替ヘッジを行わないBコースでは為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。Aコースは対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替ヘッジを行うにあたりヘッジ・コストがかかります。（ヘッジ・コストは、為替ヘッジを行う通貨の金利と円の金利の差が目安となり、円の金利のほうが低い場合、この金利差分収益が低下します。）

くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせください。

▶ お申込みメモ

購入単位	販売会社によって異なります。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額より信託財産留保額を差引いた価額 ※信託財産留保額については、右記をご覧ください。
換金代金	原則として換金申込日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所またはニューヨークの銀行の休業日(以下「ニューヨークの休業日」といいます。)
申込締切時間	「ニューヨークの休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時まで
信託期間	原則として無期限(設定日: 1999年11月29日)
繰上償還	受益権の総口数が各コースについて30億口を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年5月30日および11月30日(ただし、休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に原則として収益の分配を行います。販売会社によっては分配金の再投資が可能です。
信託金の限度額	各コースにつき5,000億円を上限とします。
スイッチング	販売会社によってはAコースとBコースの間でスイッチング(無手数料での乗り換え)が可能です。 ※換金時と同様に信託財産留保額および税金をご負担いただきます。
課税関係(個人の場合)	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は少額投資非課税制度(NISA)の適用対象です。配当控除の適用はありません。原則、分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の譲渡益が課税の対象となります。

▶ 委託会社その他関係法人の概要について

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(委託会社)

信託財産の運用の指図等を行います。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー(投資顧問会社)

委託会社より株式(その指数先物を含みます。)の運用の指図に関する権限の委託を受けて、投資判断・発注等を行います。

三菱UFJ信託銀行株式会社(受託会社)

信託財産の保管・管理等を行います。

▶ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額に、 3.24%(税抜3%)を上限 として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
換金手数料	なし
信託財産留保額	換金申込日の翌営業日の基準価額に対して 0.3%

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対して 年率2.052%(税抜1.9%) ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
信託事務の諸費用	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.05%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

販売会社

本ファンドの販売業務等を行います。

販売会社については下記照会先までお問い合わせください。

照会先

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
ホームページアドレス

www.gsam.co.jp

電話番号

03-6437-6000

受付時間:
営業日の午前9時から午後5時まで

(2017.8)